

鹿児島県認知症GH連絡協議会 鹿児島熊毛支部主催研修 アンケート結果

『グリーンケアって何?』（講師：高橋聡美先生）

平成31年2月22日 14:00～17:00

参加者数 66名 アンケート提出 55名

Q1. 研修内容は満足しましたか。

1. 大変満足	46名	3. やや不満足	1名
2. やや満足	7名	4. 大変不満足	1名

Q2. 今後に活かしますか。

1. かなり活かせる	44名	3. あまり活かさない	0名
2. まあまあ活かせる	11名	4. 活かさない	0名

Q3. 印象に残ったこと、疑問点など。(原文のまま記載)

- ・ グリーンケアって何? と思い、申し込みました。喪失体験に伴う愛情や悲しみなど、様々な感情であることが大変よく理解できました。楽しく講義を聞くことができました。ありがとうございました。
- ・ 高橋先生の目標「頑張らない、我慢しない、無理しない」が印象に残りました。
グループホームに従事して1年余りですが、自分に自信がなく、他のスタッフに迷惑をかけるはいけないと思っている自分がいます。自分の力を自覚することを教えてくださいと思います。
自分への支援を考えながら介護職に従事したいです。楽しく省みることができました。ありがとうございました。
- ・ 大変楽しい講義でした。グリーンケアのことは全然知らなかったですが、今回の講義でとても勉強になりました。これから、今日教わったことを活かしていきたいです。
- ・ 遺族から、医療者・介護者への怒りを持たれる。それは反応で誰にとってもある。ターミナル期でのご家族への丁寧な対応、ご家族の選択を支援。怒りの感情を持たれることにつながる現実を再認識いたしました。
- ・ 私自身、父を亡くしましたが（中1）、自分の過去を思い出しました。ほぼ泣くことなく語ることなく、長女の役割を果たしてきました。いろいろ思い出し考えることができました。アンパンマンみたいになります。（笑）
- ・ 死別した相手との向き合い方や、その当時から今までの感情の変せんを思い出すことができた。看護師としての立場からの理解と、当事者としての理解（受容）には、大きな違いがあって、それを認め受け止めていく行程は苦しいこともあるが、共有できたらいいなと思います。あいまいな喪失は生き別れとなった人達のことを思い、自分のケアにもなった。For Givenessが手放すこと、解放することで、楽になれると思いました。今日はありがとうございました。
- ・ 「その人が見ている風景を一緒に見る。」という言葉が、目からウロコが落ちたような衝撃を受けました。今までの迷いが吹っ切れたような気がしました。また鹿児島島に来てください。
- ・ 有害支援については思い当たるが多々ありました。感情労働については、あいまいな感じであったが、しっかりと認識できてよかった。
- ・ アンパンマンが楽しく、知識を学びました。ありがとうございました。
- ・ 看取りがグリーンに与える影響のシートの部分。（対処方法の部分）
- ・ ありがとうございました。グリーンケアについて、本当に良い勉強になりました。
- ・ ありのままを受け入れる。同じ風景を見る。

- ・冗談を交えた雰囲気作りが素敵でした。明るくてプロジェクターが見にくかったです。
- ・具体的にわかりやすく講話された。そのためうなずく自分がいた。「亡くした対象によりグリーフの反応が異なる。」「百人いたら百通りのグリーフの反応がある。」など、深く思考回路を活発にすることができました。郷里愛を感じました。大ベテランの講義、ありがとうございました。
- ・認知症になり、お母様の変化についていけない息子様がいらっしやる。どのように話しかけて良いかわからなくなる時があるが、息子様の思いはそのまま話を聴いてあげるだけでよいのだと、こちらから理解を求めるような話は、するべきではないとあらためて思いました。早く立ち直るために、という声掛けはいらぬなと思いました。思いを聴いてあげることが大切。
- ・エンゼルケアを最近したばかりでした。遺族のことを考えてやっていきたいと思います。楽しかったです。
- ・今、私が葛藤していることに入っていけると、学びが多かったです。「自分の感情とどう向き合うか」という学びは他スタッフにも伝えていきたい。
- ・頑張らないことの大切さ。それにより、協力し合える場が職場であることに気づけた。
- ・受け入れることに大切さ、知識を持つことの大切さを確認できました。
- ・性格は変えられないが、ふるまいは変えられる。自分の感情のコントロールについて考えていきます。
- ・わかりやすく、鹿児島弁もまじえて教えてくださりありがとうございました。「グリーフケア」初めて聞いた言葉でしたが今後のケアの中で、看取りなどあった時活かしていきたいです。
- ・死、喪失体験について改めて学び、現場で活かせることがたくさんあった。見えている風景を一緒に伴走できるように努力したい。
- ・ポジティブワードにかえてみよう、の項目で、「同じことを何度も言う」、まさしく今当施設でよく耳にするワードでした。マイナスワードが飛びかっているあまりよくない環境なのかな、と気づけたこと。自分の気持ちを受け入れることから始めていきます。
- ・お疲れさまでした。ありがとうございました。今日初めてグリーフケアの勉強会をしました。はじめは4時間長いな、と思いましたが、あっという間に時間が過ぎました。2年前に夫を亡くし、今年3年目ですが、自分の中で思いがだいぶ落ち着きました。誰にも話すことができずに。気分をかえて努力目標を目指したいと思います。また機会がありましたら、鹿児島での研修をお願いします。
- ・高橋先生の鹿児島弁が印象に残りました。遺族の悲しみは無くならないという考えが印象に残りました。家族を亡くした悲しみは、隠れたり、出てきたりと繰り返すことを理解する必要性を感じました。とても貴重な講習をありがとうございました。
- ・利用者様に、死にたい、と言われた時、いつも返事に困っていました。オウム返し、詳しく尋ねる、今日の研修のコミュニケーションスキルを身につけ日々勉強していこうと思います。頑張らない、我慢しない、無理をしない、努力目標、私も目標にしたいと思います。
- ・とても楽しくなりました。次回も出席したいです。
- ・コミュニケーションスキル。オウム返し。詳しく尋ねる。現場で活かしていきたい。解決策を先にしていたことがある。勉強になり参考になりました。ありがとうございました。
- ・アンパンマンを利用した話がとてもわかりやすいでした。
- ・子どものグリーフサポートはとても印象に残りました。自分も子どもがいたり、震災の事例が心打たれました。自分が老人看護が中心で、看取り後なかなか積極的にグリーフケアまでできていなかったのも少しでもケアの中でいかせるようにします。

- ・事例がわかりやすかったです。
- ・子どもたちのケア（ケアと言ってよいか？）についてすごく考えさせられる。また自身の内面、性格に気づかされる。
- ・グリーフケア、コミュニケーションスキルの内容、支援者の支援、感情のコントロール等わかりやすかったです。鹿児島弁を使用しながらの研修は、楽しかったですし心に残りました。現在、介護の看取りケアの研究を行っています。結果が合致しました。ありがとうございました。コミュニケーションスキルの向上や振り返りを行っていきたいと思います。
- ・「グリーフ」の意味を知ることができた。グリーフケアが遺族ケアにとどまらず、認知症や障害、疾患によってかわる。当事者の家族にも当てはまることを知り、なるほどと感じた。
- ・先生のプライベートも時折まじえながら、とても楽しくあっという間の時間でした。自分の限界を自覚し、助けを求めることができる人＝強い人、という話しはとても印象に残りました。頑張らない、我慢しない、無理をしない、を目標に、介護職を続けていきたいです。ありがとうございました。
- ・3時間の研修お疲れさまでした。笑いあり、楽しくあっという間に過ぎました。グリーフケアについても学ぶ機会ができ、ありがとうございました。オウム返しの大切さ、日々の中でできていない時もあり、心がけていきたいです。
- ・グリーフ全般、名前は知っていたけれど、内容は全く知らなかったのも、とても勉強になりました。悲しみを自分の中にとどめている人は多いですね。その気持ちを開放できる場があるといいですね。内容がわかりやすく、知識として知っておくにはとても勉強になりました。「同じ風景を見る」自分ができていないところです。できることからやってみます。ハートのワークも良かったです。
- ・非難するのではなく、受け入れる。オウム返し、詳しく尋ねることで会話ははずんでくる。「死」を知らされなかった子供たちの、グリーフは難しいと思いました。
- ・グリーフケアがどういうことか、先生の巧みな話しぶりや事例を挙げての細かい説明で、とてもよくわかりましたし、納得することができました。ありがとうございました。
- ・具体的な事例をまじえてわかりやすい内容でした。自分は介護職だが、この職に向いていないんじゃないかと自己嫌悪におちいることがあります。強みを教えてもらい、てげてげの感情を持つことも大事、と割り切れるようにしようと思いました。先生の鹿児島弁が上手すぎて、笑いながらのとてもいい研修でした。
- ・平安の祈りは、とても印象的でした。
- ・リフレクション（オウム返し）エンゼルケアで気をつけたいこと。何度も話をする人がいるので、オウム返しのスキルを使って、話を聴いてもらえた、と実感してもらえるように支援したい。
- ・時々鹿児島弁が入り、にぎやかでした。とても充実した時間を楽しく過ごせました。